

## みんなが暮らしやすい社会をつくるキーワードがユニバーサルデザイン

暮らしやすさを向上させるために、県では、次の4つの視点を大切にしてユニバーサルデザインを取り入れていこうと考えています。

### ①すべての人に簡単



大きくてだれにでも見やすく、分かりやすい表示

### ②すべての人に快適



階段の横に、スロープが「さりげなく」つけられた利用しやすい施設

### ③すべての人に安全



車道、自転車道、歩道の3つの通行区分に分けられた安全な道路

### ④すべての人と状況に柔軟



ボタンや取り出し口が、大人にも子どもにも利用しやすい高さにある自動販売機

建築や交通、日用品や電化製品、情報やサービスなどいろいろな分野にユニバーサルデザインの考え方を取り入れることで暮らしやすさが向上します。

ユニバーサルデザインは、すべての人のニーズ(要求)に応えようとする考えですが、現実的には100%応えていくことは難しいでしょう。でも、それを目指していくことこそ大切なのです。

そのためには、遠回りにみえても、できるだけ多くの利用者のさまざまな意見や要望を聴いて、作り出すもの(製品、建物、環境、サービスなど)に可能な限り反映させるように努力するという「プロセス(過程)」を大事にしなければなりません。

熊本県では、この「プロセス(過程)の重視」をユニバーサルデザイン推進に当たっての原則としています。

## みんなが暮らしやすい社会はみんなで作るもの！

暮らしやすい社会とは、私たち一人ひとりの心の中にユニバーサルデザインが息づいている社会です。

行政、企業・団体、県民それぞれみんながユニバーサルデザインの意識を持ち、パートナーシップによってユニバーサルデザインを運動として展開していくことで、暮らしやすい社会をつくりましょう。

### 行政

普及啓発、導入に向けた支援  
行政サービスへの導入



### 企業・団体

製品・サービスへの  
ユニバーサルデザインの導入



### 県民の皆さん

ユニバーサルデザイン製品・サービスの  
利用、改善策の提案



## もっと詳しく知りたいユニバーサルデザイン

ここで紹介したようなユニバーサルデザインをさまざまな分野で広めていくためのよりどころとなる指針をつくりました。その内容がわかるパンフレットは、県庁、県地域振興局や市町村役場などでお配りしています。

また、指針の詳細は、県のホームページでもご覧になれます。

県ホームページ [ud-kumamoto.rkk.ne.jp/html/kenkyu/shishinkettei/index.html](http://ud-kumamoto.rkk.ne.jp/html/kenkyu/shishinkettei/index.html)

### ■お問い合わせ先/熊本県企画課 パートナーシップ企画班

☎096-383-1111(内線3621) FAX096-382-4066

電子メール [kikaku@pref.kumamoto.jp](mailto:kikaku@pref.kumamoto.jp)

の実現を目指して参りましょう。

二十一世紀は、だれもが自らの能力や個性を發揮し、生きていける世紀でなければならぬと思います。そのためにも、私は、このUDの考え方を幅広い分野に取り入れていきたいと考えています。

皆様方も、ぜひUDに関心を持っていただき、一緒になって「だれもが暮らしやすく豊かなくまもと」の



熊本県知事  
潮谷義子

## 知事室から

いつもの雨上がり。水辺に舞うホタルに田んぼではカエルの大合唱。梅雨でも自然は私たちを楽しませてくれます。

このとき、雨が降ると、天気の良い日には感じなかった思わぬ不自由さに出くわすことがあります。路面で滑ったり、傘をさして電柱と塀の間がすり抜けられなかったり。こんな経験は私だけではないと思います。また、周りの状況だけではなく、人は、視力低下やケガ、赤ちゃんを連れている時など、個人個人で不便さの感じ方が異なっています。

今回ご紹介したユニバーサルデザイン(UD=ユニバーサライゼーション)は、どのような状況であっても、可能な限りすべての人に合った製品、建物、環境などをデザインしていくことというものです。